平成26年度 当初予算(案)

# 主な事業の説明書

総 務 部 選挙管理委員会

款	項	目	大事	事業	ページ
2	1	2	16	アーカイブズ関係経費	1 - 1
2	1	4	14	庁舎改修事業費	1 - 2
2	4	3	10	(新規) 秋田県議会議員選挙執行経費	1 - 3
2	4	4	10	(新規) 大仙市農業委員会委員選挙執行経費	1 - 4
2	4	5	10	(新規) 花館財産区議会議員選挙執行経費	1 - 5
3	5	1	20	復興支援事業費	1 - 6
9	1	2	1	消防団員報酬	1 - 7
9	1	2	12	消防団管理運営費	1 - 8
9	1	3	11	消防施設・設備整備費	1 - 9
9	1	5	10	防災対策費	$1 - 1 \ 0$

2款 1項 2目 16事業

新規 ・継続 ・ 廃止

課所名 総務部総務課

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保護保全・整備と活用

(基本事業) 文化財の普及啓発と史料の整備

【事業名】 アーカイブズ関係経費

【説明項目】 公文書館の設置等について

【26年度】 7,308 千円【25年度】

6,391 千円【増減額】

917 千円

#### 1. 事業の目的

行政運営上の役目を終えた(非現用)公文書並びに古文書のうち、市政及び市民の営みを伝える歴史資料として重要なものを評価選別のうえ保存し、市民及び職員の閲覧などに供するほか、これに関連する調査研究を行うことにより、「市民の知る権利」や「後世への説明責任」に応え、市民及び職員が市の営みを正しく理解し、未来のあり方について考える機会を確保するほか、無用の紛争を回避し、あるいは問題を解決する証拠として、現在の住民生活や行政活動に資することを目的とする。

### 2. 事業の目標(数値目標)

- ① 大仙市公文書館(仮称)を設置する。
- ② 行政運営上の役目を終えた公文書並びに古文書を評価選別し、歴史資料として重要なものを保存し、市民等の利用に供するほか、これに関連する調査研究を行う。
- 3. 事業の概要
- ① 公文書館の設置 … 平成26年度 基本設計、シンポジウム
- ② 公文書館設置準備室(仙北庁舎)… 平成26年度設置
- ③ 非現用公文書の評価選別 … 平成26年度 仙北支所ほか(対象簿冊 約17,000冊)
- ④ 古文書調査研究 · · · 平成26年度 池田家文書(仙北地域)、山口家文書・大沢郷村文書(西仙北地域)
- ⑤ 歷史資料利活用 … 平成28年度以降
- ※ 平成28年度に旧双葉小学校(強首字上野台1)を改修して公文書館を設置する。
- ※ 古文書については、目録化・デジタルデータ化のほか、市民ボランティアの協力を得て整理・解読も行っている。また、大学教授の指導のもと古文書調査を実施している。特に池田家文書の調査では、近世・近代における地主形成の過程を明らかにするとともに、秋田藩政の具体的な統治のあり方の解明を目指す。
- 4. これまでの成果と今後の方向性
- (1) こまでの主な成果
  - ① 公文書の目録化により職員の文書検索に伴うコストを削減し、未返却等による文書の散逸も防いでいる。
    - 本庁文書(旧大曲市文書含む)6,770件(明治16年から平成24年まで129年分)
    - ・ 中仙支所文書(旧町文書含む)6,176件(明治14年から平成21年まで128年分)
    - 太田支所文書(旧町文書含む)5,537件(明治22年から平成17年まで116年分)
  - ② 古文書の目録化(3万件超)のほか、デジタルデータ化、解読を継続している。
- (2) 今後の方向性
  - ① 公文書については、神岡・西仙北・協和・南外・仙北支所にある旧町村文書を中心に早期に目録化を進める。
  - ② 古文書については、市民ボランティアの協力のもと、古文書の整理・解読を進めるほか、蓄積された情報を刊行物やインターネット等で市民の利用に供する。
  - ③ 歴史資料を一箇所で保存・活用できるよう平成28年度の公文書館設置を目指す。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価 (今後の方向性)

① 各支所における歴史資料の分散管理は、保存や利用上の問題が多いことから、これ を解消するため、公文書館を設置する。

② 歴史資料の公開や調査研究に際しては高度な専門性が要求されることから、組織体制を整備する。

拡充

#### 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
7, 308	955			6, 353

【国県支出金】 社会資本整備総合交付金 (1/2補助)

#### 事業説明 書

2款 1項 4目 14事業

新規 ・継続 ・ 廃止

課所名 総務部 管財課

(施策の大綱) 行財政運営の効率化

(施策) 公共施設の適正な管理

(基本事業) 庁舎等の維持管理

【事 業 名】 庁舎改修事業費

【説明項目】 事業内容について

【26年度】 272,985千円【25年度】

128, 229 千円【増減額】

144,756 千円

1. 事業の目的

地震による建築物の倒壊等の被害から生命、身体及び財産を保護するため、既存庁舎の 耐震補強を実施する。

2. 事業の目標(数値目標)

本庁舎及び支所庁舎は、災害時に重要拠点施設として位置づけられていることから、国 で定める耐震の基準値(Is値0.6)の1.25倍のIs値0.75を目標値として設定し、耐 震補強工事を実施する。

・協和庁舎 (S53築)

24年度耐震診断・25年度実施設計・26年度耐震補強工事

・仙北庁舎(S49築) 24年度耐震診断・25年度実施設計・26年度耐震補強工事

### 3. 事業の概要

■協和庁舎

補強工法 ピタコラム工法(外付工法)10構面・アンボンド工法(内付工法)12構面

耐震補強及び改修(外壁塗装)工事

153,237 千円

耐震補強及び改修工事 設計監理業務委託

702 千円 ▶ 156,636 千円

耐震補強及び改修工事 工事監理業務委託

2,697 千円\_

■仙北庁舎

補強工法 パラレルユニットフレーム工法(外付工法)14構面

耐震補強及び改修(外壁塗装・サッシ改修・ブラインド交換)工事 112,151 千円 7

耐震補強及び改修工事 設計監理業務委託

554 千円

耐震補強及び改修工事 工事監理業務委託

2,413 千円

-116,349 千円

その他の工事(事務室照明器具更新工事)

1,231 千円 J

4. これまでの成果と今後の方向性

25年度には大曲庁舎及び大曲庁舎車庫棟の工事が完成し、協和庁舎及び仙北庁舎の実施 設計が完了した。26年度は、協和庁舎及び仙北庁舎の工事を実施する。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

庁舎等の耐震化工事は、災害時に重要拠点施設になることから、早期完成を 目指すものである。

総合評価 (今後の方向性)

改善しながら

継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
272, 985	65, 750	195, 600	. 0	11,635

【国県支出金】14款2項6目 住宅・建築物安全ストック形成事業補助金

21款1項1目 庁舎改修事業債 【市 債】

2 款 4 項 3 目 10 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 選挙管理委員会事務局

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

【事 業 名】 秋田県議会議員選挙執行経費

【説明項目】 秋田県議会議員選挙の執行について

【26年度】

11,963 千円【25年度】

千円【增減額】

11,963 千円

1. 事業の目的

平成27年4月29日の任期満了に伴う秋田県議会議員一般選挙の管理執行を行うものである。

### 2. 事業の目標(数値目標)

秋田県議会議員一般選挙における立候補者について、大仙市開票区における得票数を確定させるための 選挙の準備を行うものである。

### 3. 事業の概要

- ◇ ポスター掲示場 496箇所
- ◇ 主な予算措置
- · 職員時間外勤務手当 844千円 (投票管理者等依頼事務·選挙人名簿作成事務時間外手当)
- 入場券印刷代 361千円 (投票所入場券印刷)
- ・ ポスター掲示板作成費 2,955千円 (12区画ポスター掲示板作成)
- · 入場券発送費等役務費 3,702千円 (入場券郵送料·投票管理者等依頼文書郵送料等)
- ・ ポスター掲示場設置等委託費 4,068千円 (掲示場設置委託・掲示場敷地除雪委託)

1	- h	すで	OF	里レ	合谷	の方向性
---	-----	----	----	----	----	------

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価 (今後の方向性)

新規事業なので該当なし

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
11,963	11,963			0

【国県支出金】 【そ の 他】 15款3項1目 : 秋田県議会議員選挙費委託金 11,963,000円

#### 説 書 事 業 明

2款 4項 4目 10事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 選挙管理委員会事務局

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

大仙市農業委員会委員選挙執行経費 【事業名】

【説明項目】 大仙市農業委員会委員選挙の執行について

【26年度】

27,489 千円【25年度】

千円【増減額】

27,489 千円

1. 事業の目的

平成26年7月30日の任期満了に伴う大仙市農業委員会委員一般選挙の管理執行を行うものである。

2. 事業の目標(数値目標)

大仙市農業委員会委員一般選挙における立候補者について、得票数を確定させ、当選人を決定する。

### 3. 事業の概要

- 選挙区数及び定数 8選挙区 40人  $\Diamond$
- 期日前投票 告示日の翌日から投票日の前日までの6日間(市内8箇所)  $\Diamond$
- 不在者投票 告示日の翌日から投票日の前日までの6日間 0
- $\Diamond$ 当日投票 午前7時~午後6時 市内50箇所
- 0 選挙会 (開票) 午後7時開始 市内8箇所
- 0 主な予算措置
- 管理者・立会人報酬 4,202千円(選挙長・立会人、当日・期日前投票管理者・立会人の報酬)
- 職員時間外勤務手当 16,626千円 (当日投開票事務・期日前投票事務従事者の時間外勤務手当)
- 臨時職員等賃金 1,229千円 (期日前投票所等事務補助員・投票所設営撤去人夫)
- 各種看板代等需用費 2,217千円 (各種啓発看板、入場券・投票用紙の印刷)
- 入場券発送等役務費 2,274千円(入場券郵送料、計数機点検手数料・不在者投票事務取扱手数料)
- 開票所設置撤去等委託 299千円 (開票所設置撤去・電話交換業務・広報用テープ作成の委託)
- 投票所等借上料 483千円(投票所・運搬車両の借上料、投票箱送致用タクシー代)

### 4. これまでの成果と今後の方向性

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価 (今後の方向性)

新規事業なので該当なし

### 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
27, 489				27, 489

【国県支出金】

#### 事 説 業 明 書

2款 4項 5目 10事業

(新規) ・ 継続 ・ 廃止

課所名 選挙管理委員会事務局

(施策の大綱)

(施策)

(基本事業)

花館財産区議会議員選挙執行経費 【事業名】

【説明項目】 花館財産区議会議員選挙の執行について

【26年度】

2,637 千円【25年度】

千円【増減額】

2,637 千円

1. 事業の目的

平成27年2月7日の任期満了に伴う花館財産区議会議員一般選挙の管理執行を行うものである。

2. 事業の目標(数値目標)

花館財産区議会議員一般選挙における立候補者について、得票数を確定させ、当選人を決定する。

### 3. 事業の概要

- $\Diamond$ 定数 16人
- $\Diamond$ 期日前投票 告示日の翌日から投票日の前日までの4日間(花館公民館)
- $\Diamond$ 不在者投票 告示日の翌日から投票日の前日までの4日間
- 当日投票 午前7時~午後5時 市内5箇所
- $\Diamond$ 選挙会 (開票) 午後6時開始(花館公民館)
- $\Diamond$ 主な予算措置
- 管理者・立会人報酬 400千円 (選挙長・立会人、当日・期日前投票管理者・立会人の報酬)
- 職員時間外勤務手当 1,290千円(当日投開票事務・期日前投票事務従事者の時間外勤務手当)
- 臨時職員等賃金 64千円 (期日前投票所等事務補助員・投票所設営撤去人夫)
- 立候補者交付物件代等需用費 613千円(立候補者交付物件、啓発看板、入場券・投票用紙の印刷)
- 入場券発送等役務費 205千円 (入場券郵送料、不在者投票事務取扱手数料)
- 投票所等借上料 65千円(投票所・運搬車両の借上料、投票箱送致用タクシー代)

### 4. これまでの成果と今後の方向性

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価 (今後の方向性)

新規事業なので該当なし

### 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
2,637			2, 637	0

【国県支出金】

【その他】

12款2項1目 : 花館財産区議会議員選挙費負担金 2,637,000円

3 款 5 項 1 目 20 事業

新規 ・継続 ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 防災体制の充実、強化

【事業名】 復

復興支援事業費

【説明項目】 東日本大震災における復興支援事業の実施について

【26年度】

4,603 千円【25年度】

2,838 千円【増減額】

1,765 千円

### 1. 事業の目的

東日本大震災の発生における復興支援として、市内避難者へのサポートは元より、被災地の状況等を 見極めながら、息の長い長期的な支援活動を継続して被災地の復興を支援するもの。

### 2. 事業の目標(数値目標)

- ◆ 市内避難者への継続支援の実施
  - ⇒31世帯71名 (H25.12月末現在)への支援活動を継続して実施する。
- ◆ 大曲の花火招待事業の継続実施
  - ⇒H26年度招待予定人数:250名程度(県外招待者+市内避難者)

### 3. 事業の概要

- ◆ 復興支援事業に係る臨時職員雇用経費及び事業費等 ・・・ 1,897千円
  - ⇒避難者サポートセンターの機能を保持しながら、市内避難者等の支援を継続して実施するもの。

【新規】臨時職員(1名)雇用 ※ 昨年度までは秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業を活用。

- ◆ 大曲の花火招待事業の実施経費 ・・・ 2,706千円
  - ⇒被災者の心のケアを目的として、東日本大震災発災後から4年連続で実施するもの。

< <h23~h25年度>&gt;</h23~h25年度>		
対象自治体等	宮古市・大船渡市・大槌町	
对象目信仰守	陸前高田市・市内避難者 等	
Im the 1 MM	H25:253名	
招待人数 (実績)	H24:287名	
() Cip()	H23:286名	
送迎方法	<u>職員等</u> による送迎	

	< <h26年度>&gt;</h26年度>			
対象自治体等	宮古市・大槌町・市内避難者			
对象日石平守	宮城県気仙沼市・南三陸町			
招待人数	H 2 6: 2 5 0 名程度			
(予定)	(大型バス5台で運用)			
送迎方法	<u>現地バス会社</u> による送迎			

※) 事業内容を見直しつつ、前年同規模で実施。

### 4. これまでの成果と今後の方向性

東日本大震災の発災直後から、震災により被災された方々を「大曲の花火」に招待し、心身の疲労を 癒し今後の復興に向け英気を養っていただいた。平成26年度は、招待対象自治体や送迎方法の一部を 見直しながら、同事業を継続して実施する。

また、市内避難者等に対する継続的なサポート体制の維持に努めていく。

### 《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

東日本大震災の発災直後から、太平洋沿岸被災地に対する様々な支援に取り組んできた。

今後も、復興に向けて自治体や関係各団体及び個人がそれぞれの立場において、被 災地に寄り添った支援を実施できるよう、息の長い長期的な復興支援活動を継続して いく必要がある。 総合評価 (今後の方向性)

改善しながら 継続

### 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
4, 603				4, 603

【国県支出金】

9款 1項 2目 1事業

新規 ・継続 ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防力の充実、強化

【事業名】

消防団員報酬

【説明項目】

消防団員に支給する年報酬について

【26年度】

49,890 千円【25年度】

46,168 千円【増減額】

3,722 千円

1. 事業の目的

消防団員へ年報酬を支給する。

2. 事業の目標(数値目標)

災害現場等の危険箇所において従事する消防団員の処遇を改善するため、報酬額を引き上げる。

### 3. 事業の概要

● 委員等報酬 49,890千円

消防団員年報酬 · · · 49,768千円

消防委員会委員報酬 · · · 122千円 (6, 100円×20名)

根拠法令:「大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例」第5条

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」第13条により団員の処遇を改善する。 【報酬の増額】

団長 82,000円 → 86,000円 (4,000円: 4.9%)

副団長 70,000円 → 73,000円 (3,000円: 4.3%)

支団長 70,000円 → 73,000円 (3,000円:4.3%)

副支団長 60,000円 → 66,000円 (6,000円:10.0%)

分団長 45,000円 → 49,000円 (4,000円:8.9%)

副分団長 36,000円 → 39,000円 (3,000円:8.3%)

部長 33,000円 → 36,000円 (3,000円: 9.1%)

班長 32,000円 → 35,000円 (3,000円: 9.4%)

副班長 31,000円 → 34,000円 (3,000円:9.7%)

団員 30,000円 → 33,000円 (3,000円:10.0%)

### 4. これまでの成果と今後の方向性

防災活動の担い手である消防団員を確保するため、報酬・手当等の処遇を改善し地域防災力の強化に努める。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価 (今後の方向性)

必要性:根拠法令により、年報酬の支給を要する。

有効性・効率性:支給額の引き上げにより消防団員の処遇改善が図られる。

改善しながら 継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
49, 890				49, 890

【国県支出金】

9 款 1 項 2 目 12 事業

新規 ・継続 ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防力の充実、強化

【事 業 名】 消防団管理運営費

【説明項目】 消防団運営、出動費用弁償支給及び被服更新等経費について

【26年度】

53,141 千円【25年度】

35,600 千円【増減額】

17,541 千円

### 1. 事業の目的

消防団員が出場した訓練・会議等における費用弁償の支給並びに被服等を貸与するなど、団員が円滑に活動できる環境づくりを目的とする。

### 2. 事業の目標(数値目標)

全団員へ訓練等に出場した費用弁償の支給、被服等の貸与を実施する。

### 3. 事業の概要

● 旅費 32,951千円

消防団員出動費用弁償・・・ 31,969千円(@3,500円×延出動人員 9,134人) 根拠法令:「大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例」第5条 団幹部研修・職員随行等旅費・・・ 982千円

● 消耗品費等 19,190千円

【新規】団員活動服更新 @23,393円×710人=16,610千円 (平成26~27年度 (2箇年)で更新) 根拠法令:「大仙市消防団員被服給貸与規則」第3条参照 活動服一式、アポロキャップ1個 使用期限10年 その他消耗品2,580千円

● その他経費(報償費、交際費等) 1,000千円

### 4. これまでの成果と今後の方向性

全国的に消防団員は減少傾向にあるが、募集等を推進しマンパワー確保に努め、消防団員が活動しやすい環境づくりを構築し、更には資機材等の更新・整備も図りながら万全な体制を図り「災害に強いまちづくり」を目指す。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価 (今後の方向性)

必要性:根拠法令により、費用弁償支給、被服更新、貸与を要する。

有効性・効率性:費用弁償の支給、活動服の貸与等により円滑な活動が図られる。

改善しながら 継続

### 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
53, 141				53, 141

【国県支出金】

#### 事 業 説 明 書

9款 1項 3目 11事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 消防力の充実、強化

【事業名】 消防施設·設備整備費

消防施設、資機材の新設・更新等の経費について 【説明項目】

【26年度】

26,495 千円【25年度】

46,839 千円【増減額】

△ 20,344 千円

### 1. 事業の目的

経年劣化が著しい消防施設(格納庫、ホース乾燥塔)の改築、資機材(車両、小型動力ポンプ)の更新経

### 2. 事業の目標(数値目標)

市内各地域に設置している消防施設・設備等は、定期点検を実施し災害に備えているものの、経年劣化が 著しい資機材も多数ある。

このことから、市民の財産を守り、災害に強いまちづくりを目指すことからも年次計画により順次更新、 設置を要するものである。

(参考) 小型ポンプ 190台、積載車 71台、防火水槽 1,139箇所、消火栓 1,070箇所

### 3. 事業の概要

消防施設改修等 ••• 10,885千円

(大曲)消防格納庫新設(大花町地区) 2,074千円

(神岡) 消防サイレン塔撤去・ホース乾燥塔設置(北楢岡地区) 1,106千円

(西仙北) サイレン移設(土川字半道寺地区)

(協和) サイレン塔交換 (一ノ渡地区) 1,188千円

1,991千円 (南外) 消防格納庫改築工事 (無尻橋地区)

(仙北) ホース乾燥塔新設工事 (横堀地区、堀見内地区) 648千円

(太田) 消防格納庫改築工事 (三本扇地区) 2,799千円

(太田) ホース乾燥塔新設工事 345千円

消防資機材更新 ・・・ 15,610千円 小型動力ポンプ 3 台更新 (中仙・協和・太田)

小型動力ポンプ付積載車 1台更新 (神岡)

積載車(車両のみ) 1台更新 (西仙北)

(参考) 平成25年度は小型動力ポンプ1台更新(南外)、積載車更新(神岡1台、西仙北1台、太田2台)

### 4. これまでの成果と今後の方向性

消防団員が使用する消防施設・設備は、常日頃より定期点検を実施し非常時に備えているが、設備等の経 年劣化が著しい状況である。

このことから、小型動力ポンプ等資機材を年次計画により更新・整備し、万全な体制を図り「災害に強い まちづくり」を目指す。

《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価 (今後の方向性)

必要性:消火用資機材であることから、耐用年数、経年劣化を考慮し更新を要する。

有効性・効率性:災害時の被害を最小限に抑えられる。

改善しながら 継続

#### 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
26, 495		15, 500	963	10, 032

債】 21款1項7目 【市

消防施設設備整備事業債

【その他】 20款5項3目

物件移転補償金

9 款 1 項 5 目 10 事業

新規 ・継続 ・ 廃止

課所名 総務部 総合防災課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 防災体制の充実、強化

【事業名】 防災対策費

【説明項目】 防災対策に係る事業の実施について

【26年度】

6,526 千円【25年度】

4,836 千円【増減額】

1,690 千円

### 1. 事業の目的

大仙市地域防災計画に基づき、市の地域における大規模災害に対処するため、総合的かつ計画的な防災対策を行い、市民の生命、身体及び財産を保護するとともに被害を軽減することを目的とする。

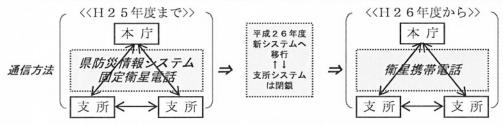
### 2. 事業の目標(数値目標)

- ◆ 地域防災計画書の改訂 (150部) …防災関係機関及び市議会議員等へ配付する。
- ◆ 本庁(1台)及び各支所(7台)に衛星携帯電話を配備する。

### 3. 事業の概要

- ◆ 地域防災計画書 [改訂] 印刷製本経費 ・・・ 1,020千円
  - ⇒災害対策基本法等、各法律の改正に伴う印刷製本費。
- ◆ 衛星携帯電話機の購入に係る経費・・・ 2,698千円
  - ⇒新秋田県総合防災情報システムの導入に伴い、有事の際における本庁・支所間での情報伝達手段の 見直しを図るもの。

【新規】衛星携帯電話購入費・電話料・新規契約事務手数料・設置工事費(本庁舎分)



◆ その他の経費 ・・・ 2,808千円

⇒防災委員報酬・旅費・コピー機保守料・災害備蓄品購入費・通信運搬費・訓練災害補償等掛金 等

#### 4. これまでの成果と今後の方向性

現在、地域防災計画の全面的改正を行っており年度内の策定に向け取り組んでいるが、今後も必要に応じて適宜修正を加え、市民が安全に暮らせるまちづくりを推進していく。

また、平成26年度内に新秋田県総合防災情報システムが導入されることから、当市における有事の際の本庁・支所間の情報伝達手段の在り方を再構築し、防災体制の充実・強化を図っていく。

### 《H25年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

東日本大震災の教訓及び県地震被害想定調査の結果、また、最近の大雨被害等を踏まえ、地域防災計画の全面的な見直しを現在行っている。

今後、同計画を災害対策の根幹と位置づけ各種災害に対する活動計画として機能させるとともに、併せて災害に強いまちづくり事業と密接に連動させながら、各種防災対策を実施していく。

総合評価 (今後の方向性)

改善しながら 継続

### 5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
6, 526				6, 526

【国県支出金】